

facebook

右京の「いま」をお伝えしています



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)

☎661-3755、FAX661-5855

こんなときは、ご相談ください。

- 使用済みの蛍光灯・電池の処分はどうすればいいの？
- 自治会で一斉清掃を実施するので、清掃用具を貸してほしい。
- 粗大ごみ処理手数料券を購入したい。
- 古紙・古着はどのようにリサイクルすればいいの？

など



問右京エコまちステーション
☎366-0190 FAX366-1380

エコまちステーションが行く！

30

京都市にご転入された方に、ごみの減量・分別の方法をまとめた冊子と、お試し用の指定ごみ袋をお渡しし、ごみの出し方や回収曜日のご案内をしています。年度替わりの区役所日曜開所日はエコまちステーションも開所します。



花壇にお花を植える様子

本事業では、地域の方たちと一緒に、新しくできる広場にお花を植えるイベントを2月17日に実施

◆お花いっぱい西京極駅前ひろば(京都光華女子大学グリーンキーパー) 私たちグリーンキーパーは、地域と連携した環境活動に関するボランティアを行っています。昨年年度から、右京区役所職員の方や地域住民の方が参加するワーキングに私たちが加わり、西京極駅前広場のデザインを考えています。以前は巨大なケヤキが立っていた西京極駅前広場を有効活用するため、これらを伐採し、そこに新しい広場を作っています。



焼きあがった炭の選別作業

森守協力隊はCO2削減に向けて取り組んでい

ちと一緒。そこで、「京北ふるさとまつり」で京北BBQ炭の活用をPRしたところ賛同者を増やせました。今後、森守協力隊はCO2削減に向けて取り組んでい

間伐、炭焼き作業は、大変重労働で採算は合いませんが、山の荒廃をくい止めるCO2削減に微力ながら貢献したいと活動を続けています。しかし、京北BBQ炭の認知度は低く、普及率が伸び悩んでいました。

伐や炭焼き、環境イベントなどの活動を行っています。

◆BBQを食べてCO2を削減しよう！大作戦(特定非営利活動法人森守協力隊)

私たちが森守協力隊は、間伐や炭焼き、環境イベントなどの活動を行っています。

右京区まちづくり支援事業の活動を紹介します！



しました。また、この活動は毎年定期的に開催したいと考えています。

問グリーンキーパー顧問・高野拓樹 h.takano@mail.koka.ac.jp



ナレーション録音風景

は、町並みや行事などの地域文化を映像に記録したり、先人が撮影した「昔の京都」の映像を収集し、その記録を次世代に伝える活動をしています。

◆右京区の伝説をDVD絵本にして次世代に伝える(NPO法人京都の文化を映像で記録する会)

ますので、ぜひ私たちの炭をご利用ください。問特定非営利活動法人森守協力隊事務所 ☎854・1303

春間近！

～区民誇りの木に選定されている桜の木を紹介します～

情報発信サポーター奥田さん企画



嵯峨小学校



花園小学校



双ヶ丘中学校



峰ヶ岡中学校

今年も桜の季節が近づいてきました。皆さんは、お気に入りの桜の木はありますか。右京にも御室の八重、天神川のソメイヨシノ、市内の桜の名所といわれるところが多くありますが、皆さんの近所の小学校や中学校にも見事な花を咲かせる桜の木があります。今年は皆さんも、近くで春の訪れを楽しんでみませんか。

市野先生は、部員が成長する姿を間近で見られるこ

きたからとのこと。

北桑田高校の強みとは

北桑田高校自転車競技部の強みは、京北地域の自然環境の良さもありますが、チームの連携力が自慢とのこと。

部員の約9割が寮から通う生徒で、日頃から家族のよう

うに同じ時間を過ごしています。遠征などでも部員と一緒に出かけることは、とても楽しみにしているそうです。

とが一番のやりがいとおっしゃっていました。そんな監督と部員との間には、深い絆のようなものを感じました。



右から草場啓吾選手、安田開選手、孫崎大樹選手、村田瑞季選手

4名とも4月からは東京の大学で自転車競技を続けていくそうで、自信と期待が満ち溢れた表情をしておられました。世界での活躍が期待される彼らの今後が楽しみです。

孫崎大樹選手「草場くんと同じ目標があるが、まず来年はナショナルチームU23で世界戦の枠を獲得し結果を残したい。」

村田瑞季選手「将来は競輪選手になって活躍したい。まずは大学のインカレで優勝したい。」

草場啓吾選手「ツール・ド・フランス(世界最大の自転車レース)で活躍したい。」

安田開選手「今後も楽しく自転車競技を続けていきたい。」

No.9 広がれ！地域のステキ★活動

まちキャン発。3団体にようこそ！

右京区でまちづくり活動に取り組む3団体「Rits-Daisy」「京・ものづくり塾・和らいふ」京都の文化を映像で記録する会が、多様な活動主体が集まり、まちづくりのアイデアを事業化する場「まちづくりキャンバス@右京」で出逢い、共同イベントを開催することになりました。

今回、企画の中心メンバーである「Rits-Daisy」の小澤さん、西坊さん、齋藤さんにお話を伺いました。

◆活動のきっかけ 私たちは作品をDAISY(文章・音声・画像を統合した世界規格)化によって、視覚や聴覚に障害のある方にも楽しめるようにしています。その作品を通じて、あらゆる人が情報を共有していきける社会にしたいと考えています。今回、他団体と連携することで、より魅力的な作品を制作することができました。イベントでは、できるだけ多くの方が文化に触れながら、私たちの活動を知ってもらいたいと思っています。

◆イベントについて 京都には多くの魅力的な文



右京区の民話を音声化する風景(右から西坊仁志さん、読み手の柴田光希さん)

問Rits-Daisy 西坊仁志 esperanza.x@zweb.ne.jp

児童の氏名、年齢、保護者の氏名、連絡先を3月16日までに「京・ものづくり塾・和らいふ」(FAX315・33339メール:kyo-net-life@nifty.com)まで。

日時 3月21日(土)午前10時～午後4時30分
会場 サンサ右京5階大会議室
友禅染体験申込(先着25名、小・中学生が対象)

入場無料

化がありますが、子ども達が実生活の中で実感できる機会は少ないです。このイベントでは、音楽療法士のハーブ演奏に合わせた小・中学生による民話朗読、友禅染体験(要予約・無料)を実施します。他にも民話の絵本をデジタル化した作品の上映なども行います。ぜひ気軽に立ち寄ってみてください。